

◆ 今月のテーマ：サイバー攻撃とは ◆

中小企業も他人事ではない！サイバー攻撃とは 被害実態と対策方法を知りましょう ～身代金ウィルス～

身代金ウィルス（ランサムウェア）によるデータ破壊が、法人企業で激増しています。WordやExcelやPDFデータ、写真画像など社内にあるデータを暗号化し利用不可能にしたうえで、「データを復元したければビットコインなどのお金で支払え」と脅し、金銭搾取をしようとする手口です。データを人質にして身代金を要求するため、このような名前がつけました。データの拡張子がvvvやmp3、locky等と変更され、利用不可能になってしまうのです。「システム開発会社が納品前のデータを暗号化してしまった」「3年間分の図面情報が破壊してしまった」「データベース情報が暗号化されてしまい、印刷した紙情報を元にデータを再入力しなければならなくなった」など、中小企業が被害に苦しんでいます。暗号化されてしまったデータは、ほぼ復旧不可能になるのです。

❖ 今月の豆知識 ❖

何気なく使っていて、これまで意識していなかったけど、実は読み間違いだったと気付く漢字は意外と沢山あります。読み間違いしやすい漢字ランキングTOP5をあげてみます。

- 1位 **貼付**（×はりつけ→○ちょうふ）
 - 2位 **依存心**（×いぞんしん→○いそんしん）
 - 3位 **間髪をいれず**（×かんぱつをいれず→○かんはつをいれず）
 - 4位 **漸く**（×しばらく→○ようやく）
 - 5位 **早急**（×そうきゅう→○さっきゅう）
- その他
- 代替機**（×だいがえき→○だいたいき）
 - 続柄**（×ぞくがら→○つづきがら）
 - 茨城**（×いばらぎ→○いばらき）

■ 身代金ウィルスを未然に防ぐ対策

感染経路には主に「メール」か「WEBサイト」ですが、とりわけ厄介なのが「不正広告」経由による感染被害です。

ホームページに掲載されている広告は、「広告配信サーバー」からコンテンツ提供を受けます。その広告配信サーバーにウィルスを仕掛け、そのまま配信。何も知らずにサイトを閲覧してきたパソコンに脆弱性（セキュリティの穴）が残っている状態であれば、広告をクリックしなくても、閲覧しただけで被害に遭遇します。身代金ウィルスの対策キーワードは「最新化」です。以下の項目を見直し、最新化するようにしましょう。

- WindowsOSの最新化・アップデート
- ブラウザの最新化・アップデート
- JAVAの最新化・アップデートもしくはJAVAの削除
- Flashの最新化・アップデートもしくはFlashの削除
- AdobeReaderの最新アップデート
- ウィルス対策ソフトウェアの最新化・アップデート
- 統合脅威管理システム（UTM）の導入でインターネットの出入口を防御する
- バックアップ（オフライン、オンライン、クラウド活用）の確実実施

参考記事：船井総合研究所 那須 慎二

